

# まいづる市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 181

令和4年(2022)  
7月31日

- 令和4年度一般会計補正予算を可決
- 「電力の安定供給を求める意見書」を可決
- 意見交換会「市民と議会のわがまちトーク」を開催  
延べ101人の市民が参加
- 「議会改革度調査2021」ランキングで  
舞鶴市議会が全国(一般市) **8**位

主 な 内 容	市民と議会のわがまちトーク	2
	6月定例会のあらまし	4
	常任委員会の審査報告	4
	各会派討論の内容	6
	議案の採決結果	8
	令和3年度政務活動費支出内容	9
	令和3年度議長交際費支出内容	9
	一般質問	10
	委員会視察報告	18
	意見書	20
	議会改革度調査2021ランキング	20
	9月定例会の予定	20

議会だよりはこのコードから  
ご覧いただけます。



福祉健康委員会



総務消防委員会



産業建設委員会



市民文教委員会



議員と語ろう!

「わがまちトーク」

開催日 8.4.17(日)・4.24(日)



# 「市民と議会のわがまちトーク」を開催しました

「市民と議会のわがまちトーク」は、各常任委員会が設定したテーマに沿って、市民の皆さまと議員がワークショップ形式で意見交換を行うもので、新型コロナウイルス感染症対策にも配慮して開催しました。

皆さまからいただいたご意見は、各委員会における調査や議論を踏まえて、市への政策提言につなげてまいります。

## 4つの テーマ

4月17日(日) 午前 ● 「高齢者の自立と生活支援サービスの充実について」 (福祉健康委員会)

4月17日(日) 午後 ● 「家庭教育を支える仕組みづくりについて」 (市民文教委員会)

4月24日(日) 午前 ● 「農業の担い手確保について～もうかる農業にするためには～」 (産業建設委員会)

4月24日(日) 午後 ● 「公共交通を維持していくために何が必要か」 (総務消防委員会)

## 福祉健康委員会

テーマ 高齢者の自立と生活支援サービスの充実について

参加者 24人 (老人クラブ連合会役員、地域支えあいサポーター、自治会長、民生・児童委員、公募の方々)

### 主な意見

- ◆ 地域全ての高齢者を対象とした見守りと生活支援の組織をつくることは容易なことではない。
- ◆ 老人クラブの活動をしっかりとしたものにするのが最も効率的で現実的ではないか。
- ◆ 老人クラブの組織運営やクラブの在り方を見直す必要があるのではないか。



## 市民文教委員会

テーマ 家庭教育を支える仕組みづくりについて

参加者 28人 (教育関係者、PTA役員、民生・児童委員、子育て支援関係者、公募の方々)

### 主な意見

- ◆ 問題を抱える家庭は、周りや相談機関等とのつながりを持つこと自体が難しい状況にある。
- ◆ 親も子も相談する相手や機会が必要で、こうした状況について問題意識を持つことが重要である。
- ◆ 学校、幼稚園、保育園のほか、放課後児童クラブや子育て支援機関等のネットワークのさらなる強化が必要である。



## 産業建設委員会

**テーマ** 農業の担い手確保について  
～もうかる農業にするためには～

**参加者** 25人 (高校生、JAにのくに、農業事業者、老人クラブ会員、公募の方々)

### 主な意見

- ◆ 風水害や雪害などの自然災害に加え、有害鳥獣被害等により、農業は厳しい状況にある。
- ◆ 若者が農業に従事できる土地と家をセットにして提供できるようにするべきではないか。
- ◆ 農泊や観光農園により農業に関心を持つ人を増やすとともに、農家へのインターンシップの機会を提供したらどうか。



## 総務消防委員会

**テーマ** 公共交通を維持していくために何が必要か

**参加者** 24人 (高校生、高齢者、子育て世代、勤労者、公募の方々)

### 主な意見

- ◆ バスの本数が少なく、移動時間を考えると、自家用車のほうが便利であるため、バスの利用頻度は低い。
- ◆ ニーズに合わせた編成や運行本数の増加のほか、乗り継ぎの連絡を良くすることで利用が増えるのではないか。
- ◆ 利用の多い商業施設の前にバス停をつくったり、バス待ち環境を整備する検討が必要ではないか。



※「市民と議会のわがまちトーク」の内容は、委員会別に報告書を作成し、ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



## 令和3年度 政策提言の振り返り

### 高齢者の多様な社会参加の機会を創出

**提言**

オンラインによる団体同士の「交流の場」の創出を願う。

**事業**

コロナ禍においても、全市民的な団体交流が図られるよう、ネットワーク環境を活用し各公民館をつなぐ「サロンdeすつれっちフェスタ」が、令和3年11月に試行的に実施された。

### 夢に向かって将来を切り拓く子どもを育成するための環境づくり

**提言**

社会基盤として安定した雇用での人材確保を願う。

**事業**

保育士の人材確保や育成事業に係るさまざまな施策に取り組んできた結果、待機児童ゼロになり、令和4年6月1日現在も継続している。また同様に、放課後児童クラブ支援員や医療的ケア児支援に係る看護師についても人材確保や育成に努めている。

### 地域防災力の向上

**提言**

地域の防災リーダー育成のため、防災リテラシーの講義が行われている舞鶴工業高等専門学校と連携を深める。

**事業**

自主防災組織づくりの推進を図るため、舞鶴工業高等専門学校から協力を得て「防災士養成講座」を開催する。

# 6月定例会のあらまし

- 物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対して、児童1人当たり5万円の特別給付金を支給する生活支援や、京都府の認証を受けて感染症対策に取り組む市内飲食店を応援するプレミアムクーポンの発行など、総額1億3450万円の令和4年度一般会計補正予算(第1号)を可決
- 新型コロナウイルスワクチンの4回目接種に向けた接種体制の確保や、海の京都DMOと連携し観光需要の回復のため、市内宿泊施設の利用者にクーポンを発行するなど、総額2億8552万円の令和4年度一般会計補正予算(第2号)を可決
- 急激な原油価格・物価高騰等の影響を受ける市民生活および長引くコロナ禍で影響を受けた小売サービス業を支援するプレミアムクーポンの発行や、給食費の保護者負担の増加分全てを対象とする緊急支援など、総額3億7130万円の令和4年度一般会計補正予算(第3号)を可決

令和4年舞鶴市議会6月定例会は、6月2日から6月29日までの28日間開催されました。市長から提案された令和4年度一般会計補正予算のほか、条例の一部改正などの10議案を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決しました。また、議会提案の「電力の安定供給を求める意見書」1件を可決しました。

## 予算決算委員会の主な審査内容

令和4年度一般会計補正予算(第1号)

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費

Q 申請期限は

A 令和5年2月28日までとしている。

まいづるグルメクーポン2022発行事業費

Q 昨年度は、舞鶴文化公園体育館や東体育館でクーポン券を販売していたが、今回の販売方法および発行に関する広報の手法は

A 今回は、体育館に加え、東西の商店街など計6カ所で販売を予定している。広報については、市のホームページやSNSなどで幅広くPRしたい。

令和4年度一般会計補正予算(第2号)

北近畿タンゴ鉄道支援事業費補助金

Q 沿線自治体による支援の総額とその金額

の算定方法は

A 沿線の2府県および5市2町による支援の総額は、5289万4千円。

京都府にまん延防止等重点措置が発令され移動が制限されていた令和4年1月27日から3月21日までの定期外運輸収入の減少額に対して支援するもので、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける前の平成29年度から令和元年度までの同期間の平均の収入額と、令和3年度の実績との差額である。

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費

Q 支給要件に「求職活動を行うこと」とあるが具体的には

A 月1回以上、生活支援相談センターの面接を受けていただくこと、ハローワークで職業相談を行っていたかどうか、また、週1回以上求人先への応募、

面接または、問い合わせを行っていただくことを要件としており、月1回相談員との面談を確認を行う。

Q 対象世帯の見込みは

A 令和4年4月から8月末までの間で、新規対象世帯を月10世帯、再支給対象世帯を月7世帯程度見込んでいる。

児童福祉施設等新型コロナウイルス感染症防止対策経費

Q 購入する衛生用品等の主なものは

A 消毒液、除菌シート、園児用マスク、うがい薬、ハンドソープなどの衛生用品に加え、飛沫防止用パーテーション、空気清浄機、サーキュレーターなどが挙げられる。

私立認定こども園等施設整備事業費補助金

Q 対象園の6月1日現在の入園者数は

A 永福こども園は、定員135人に対し、入園者数が87人、岡田こども園については、



本会議において付託された議案は、産業建設委員会2件、総務消防委員会3件、予算決算委員会4件であり、それぞれの委員会にて審査しました。

## 常任委員会の審査報告 議会傍聴

定員60人に対して、入園者数は49人となっている。

**Q** 岡田こども園における浄化槽更新工事の理由と内容は

**A** 設置後、33年が経過しており、また、水害被害を受けている部分もあるため、更新を行うもの。

**私立認定こども園  
移行改修費支援事業費  
補助金**

**Q** 総事業費(概算)約1億円のうち、事業者負担の内訳は

**A** 教育部分と保育部分の定員等で経費を按分した上で、保育部分に該当する約7千万円のうち、その4分の1と、補助対象外となる残りの約3000万円を合計した約4800万円が、事業者負担となる。

**新型コロナウイルス  
ワクチン接種事業費**

**Q** 対象者の基礎疾患の把握方法は

**A** 市内全世帯に、案

内チラシおよび基礎疾患を有するため接種券を必要とするという申請書を送付し、該当者からの申請により対象者を把握する予定である。

**道路台帳デジタル化  
推進事業費**

**Q** 道路台帳の閲覧者数は。また、職員は、どのように対応しているのか

**A** 一カ月当たり、窓口での閲覧者が約40人、ファクスでのやり取りが約20件である。窓口で閲覧方法が分からない方には、職員が説明している。

**新型コロナウイルス  
感染症対策体育施設  
整備事業費**

**Q** 泉源寺多目的施設の利用状況と利用可能な競技は

**A** 令和3年度の利用者数は、約1万8000人であった。利用実績のある競技について、ゲートボールのほか、野球、サッカー、ソフ

トボールの練習などにも活用されている。

**令和4年度一般会計  
補正予算(第3号)**

**新型コロナウイルス  
感染症対策高速バス  
維持確保支援奨励金**

**Q** 奨励金1千万円の根拠は

**A** 燃料価格高騰に伴う支援で、燃料の使用量に対し、京都府の軽油の平均小売単価において、コロナ禍における最低の単価と、令和4年度当初時点の単価との差額分から算出した額である。



子育て世帯緊急生活支援給付金給付事業費

**Q** 6月定例会初日に可決された「子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費」、1世帯当たり5万円の給付金

の支給時期と、本事業における1万円の給付金支給の時期は

**A** ひとり親世帯に対する5万円の支給については、6月20日に約600世帯900人に支給した。

それ以外の非課税世帯については、7月下旬に、今回の1万円の追加給付金と合わせて支給する。

**新型コロナウイルス  
感染症対策茶業省エネ  
推進緊急対策事業費**

**Q** 対象を茶生産農家に限定した理由は

**A** 京都府の補正予算計上に伴い、その事業概要が確定しており、出来る限り早期着手・発注が求められているものを先行させたものの。

### 常任委員会の 主な審査内容

産業建設委員会の  
主な審査内容

舞鶴市都市公園  
条例の一部改正

舞鶴自然文化園の紅葉園の維持管理経費に充てるため、毎年一定の期間、有料施設としてその使用料を定めるもの。

**Q** 紅葉園の今後の整備予定は

**A** 現有の「いろはもみじ」等を中心とした紅葉エリアに加え、今後、順次拡大していきたい。見栄えのする苗木の購入は高額であるため、昨年から種を採取して苗木を育てているが、成長するのに20年くらいかかると考えている。

### 総務消防委員会の 主な審査内容

市税条例等の一部改正

個人市民税に係る住宅ローン控除が適用される入居の期限を4年間延長し、令和7年12月31日までとするもの。

また、特定都市河川浸水被害対策法に規定する「貯留機能保全区域」として指定された土地に係る固定資産税の課税標準額を、最初の3年度分に限り減免する特例措置を設けるもの。

**Q** 舞鶴市内で貯留機能保全区域に指定されている土地はあるのか

**A** 現在のところ舞鶴市内にはない。

選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

公職選挙法の改正に伴い、舞鶴市議会議員および市長の選挙における自動車の使用とポスターの作成に係る公費負担の限度額を引き上げるもの。



令和4年6月2日の本会議初日および6月29日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討論

物価高騰への早期対応に期待する

市民クラブ舞鶴議員団

全議案に賛成する。  
新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯への特別給付金を支給する事業や、市内飲食店を応援するグルメクーポンの発行等の事業は、現状の変化に対して機動的に対応し、市民生活や企業活動への影響を最小限に抑える観点から、幅広い対策を求める。  
次に、認定こども園への移行を目指す私立幼稚園に対する施設改修費を支援する事業は、共働き世代の増加や子育て環境の多

様化が進む中で、誰もが希望する園に入所できることや潜在的待機児童、入所待ちゼロを目指すことは、本市が掲げる子育て環境日本一につながると思われる。また、直面する物価高騰による影響の緩和対応において、緊急かつ機動的な実施が求められる。そのような中、教育、保育環境等で深刻化する給食材料費の高騰による保護者負担の軽減、市民生活や小売りサービス業を支援する事業は、早期に対応していただけるよう期待して、賛成する。



物価高騰に苦しむ市民

討論

生活支援と経済支援迅速な対応を評価

創政クラブ議員団

全議案に賛成する。  
第33号議案は、低所得の子育て世帯への特別給付金支給、経営が悪化した市内中小企業の事業主負担の一部助成、コロナ対策に取り組む市内飲食店を応援するクーポン発行を行うものである。時宜を得た適切な予算である。速やかな執行と本市の経済活性化気運醸成にも取り組まれることを申し添え、賛成する。  
第34号議案は、生活困窮世帯への支援延長、保育施設等

の新型コロナウイルス感染症対策の充実強化、観光需要回復と地域消費拡大を促進するためのクーポン発行などの事務事業費を追加するものである。必要かつ適切な補正予算であり、迅速な対応と評価し、賛成する。



あらゆる場面で手厚く支援

討論

状況に即した適切な取り組みを評価

公明党議員団

全議案に賛成する。  
第33号議案では、原油価格・物価高騰等総合緊急対策として、低所得の子育て世帯に、児童1人当たり一律5万円の「生活支援特別給付金」を支給。また、「まいづるグルメクーポン」の発行により、地域経済効果を得る迅速な支援が実施されることを評価する。  
第34号議案では、物価高騰を乗り切る重要な位置付けと考えられる「自立支援金支給事業」をはじめ、子育て環境の充実を図る私立こども園等の「施設整備事業」や「移行改修費支援事業」、さらに、新型コロナウイルス感染症拡大対策の4回目ワクチン接種に向けた「接種体制確保事業」などが実施される。いずれの事業においても、状況に即した取り組みであると評価する。

第39号議案は、地方創生臨時交付金を活用した「子育て世帯緊急生活支援給付金給付事業」や給食費値上げ増額分を支援する「給食費高騰緊急対策事業」など、適切な対応と評価し、賛成とする。



物価高騰に対する負担軽減



令和4年6月2日の本会議初日および6月29日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討論

**討論**  
**コロナ・物価高騰で  
 苦しむ市民の応援を**

日本共産党議員団

全議案に賛成する。  
 4回目のワクチン接  
 種事業、長引くコロナ  
 禍と物価高騰での市民  
 の暮らしや事業者への  
 支援の補正予算である。  
 低所得者の子育て世  
 帯や住民税非課税世帯  
 への臨時特別給付金給  
 付事業などは、対象と  
 なる方への一日も早い  
 給付を望む。  
 クーポンや商品券発  
 行事業での効果は期待  
 するが、この間の事業  
 の検証や事業者の声を  
 よく聞いて行うことが  
 必要である。  
 物価高騰に伴う給食  
 費の保護者負担増を抑  
 えるため、子育て施設  
 や、小中学校への予算

措置は必要と考える  
 が、期間が今年度に限  
 られている。実施期間  
 も含め検討を求める。  
 農業、漁業など生産  
 者からは、燃料・肥料・  
 飼料などの高騰により  
 悲鳴が上がっている。  
 早急に実態に即した支  
 援策の実施を求める。

**市民に無料開放の日を**

自然文化園「紅葉  
 園」の有料化は、環境  
 整備の状況を勘案し実  
 施するべきだ。市民に  
 親しまれる施設になる  
 よう、市民に無料の日  
 を設ける工夫などを求  
 める。



市民に親しまれる自然文化園に

**討論**  
**コロナ禍かつ  
 物価高騰への対応を評価**

新政クラブ議員団

全議案に賛成する。  
 令和4年度一般会計  
 補正予算の「高速バス  
 維持確保支援奨励金」  
 は、本市と京阪神をつ  
 なぐ重要な交通手段で  
 ある高速バスが原油価  
 格の高騰で、厳しい経  
 営環境に置かれてい  
 る。京阪神方面への利  
 用客も多く、今後  
 の高速バス維持・  
 確保のための支援  
 に賛成する。「給食  
 費高騰緊急対策事  
 業費」は、長期化  
 するコロナ禍と不  
 安定な国際情勢の  
 影響で、給食材料  
 費の価格高騰が深  
 刻化し、保育所・  
 幼稚園等を利用す

る園児の給食費の値上  
 げや、各施設の仕入れ  
 コストのさらなる増加  
 が懸念されている。価  
 格高騰に伴う保護者負  
 担を抑制するため、認  
 可保育所・認定こども  
 園・幼稚園を対象に、  
 給食費の値上げにより  
 増加した保護者負担額  
 の全てを国・府からの  
 財源で支援するもので  
 あり、賛成する。「学校  
 給食費高騰緊急対策事  
 業費」は、市内の小  
 学 校に1食当たり25円、  
 中学校は18円を支援  
 し、現行の保護者負担  
 額で給食を賄うもので  
 あり、賛成する。



普段からの利用を維持するためには重要

**FMまいづるに  
 出演しています**

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」に議員が出演しています。

定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなことをお話ししていますので、ぜひお聴きください。



午後3時から生放送！  
 午後9時から、再放送を  
 お聴きいただけます。

**今後の  
 放送予定**

8月26日(金)  
 放送テーマ:「9月定例会日程案内」**「今期総括」**ほか  
 ※令和4年9月～12月の間は、放送をお休みします。

**これまでの  
 主な放送テーマ**

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」
- 「本会議や委員会の傍聴について」
- 「FMまいづるとの意見交換会の報告」
- 「審議の見える化を図る取り組み」
- 「市民と議会のわがまちトーク」 など

次回の放送予定や  
 これまでの放送内容  
 について詳しくは、  
 ホームページから  
 ご覧いただけます。



# 議案の採決結果

(令和4年6月定例会) 会期:6月2日～6月29日

令和4年6月2日および6月29日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。  
この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。  
この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



## 全会一致で承認・可決した予算議案

- 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度一般会計補正予算(第15号))
- 令和4年度一般会計補正予算(第1号)
- 令和4年度一般会計補正予算(第2号)
- 令和4年度一般会計補正予算(第3号)

## 全会一致で承認・可決した条例議案

- 専決処分の承認を求めることについて(市税条例の一部を改正する条例制定)
- 市税条例等の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 都市公園条例の一部を改正する条例制定について

## 全会一致で可決したその他の議案

- 市道路線の変更について

## 全会一致で可決した人事議案

- 人権擁護委員候補者の推薦について

## 全会一致で可決した議員提出議案

- 電力の安定供給を求める意見書



## 議会を傍聴してみませんか

**本会議や委員会等はどこからでも傍聴することができます。**

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

### 手話通訳者・要約筆記者を配置できます

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはFAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承の上、お早めにご相談ください。

詳しくはホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

検索





## 令和3年度 政務活動費の支出内容（概要）をお知らせします

政務活動費は、議員の調査研究等に資するための必要な経費の一部として、議員1人当たり年額26万円が議会会派等に  
対し交付されます。なお、差引不用額は舞鶴市に返還しました。  
舞鶴市議会ホームページに政務活動費支出に係る領収書及び視察等報告書も掲載しておりますので、ご覧ください。



### 【各会派等政務活動費 収支報告一覧表（令和3年4月1日～令和4年3月31日分）】

（単位：円）

会派名	取 入			収入合計 (1)	支 出								支出合計 (2)	差引不用額 (1)-(2)
	政務活動費	返還分*	自己負担分		調査研究費	研修・会議費	広報・広聴費	要請陳情活動費	資料作成・購入費	人件費	事務所費	事務費		
新政クラブ 議員団	1,820,000	350,000	0	1,470,000	0	0	1,089,547	0	15,840	0	9,800	199,439	1,314,626	155,374
主な支出の内容：広報広聴費（機関紙発行）資料作成・購入費（新聞購読料）、事務所費（モニタースタンド）、事務費（通話料、コピー代、トナー等）														
創政クラブ 議員団	1,820,000	350,000	0	1,470,000	0	0	0	0	15,950	0	0	194,055	210,005	1,259,995
主な支出の内容：資料作成・購入費（新聞購読料）、事務費（通話料、コピー代等）														
公明党 議員団	1,040,000	200,000	0	840,000	0	0	0	0	0	0	0	64,427	64,427	775,573
主な支出の内容：事務費（通話料、NHK受信料、消耗品費等）														
日本共産党 議員団	1,040,000	200,000	0	840,000	0	0	669,182	0	0	0	0	105,851	775,033	64,967
主な支出の内容：広報・広聴費（機関紙発行）、事務費（通話料、消耗品費、コピー代等）														
市民クラブ舞鶴 議員団	780,000	150,000	0	630,000	0	0	572,426	0	0	0	0	25,726	598,152	31,848
主な支出の内容：広報・広聴費（機関紙発行）、事務費（消耗品費、コピー代、NHK受信料等）														
会派に所属しない 議員	260,000	50,000	0	210,000	4,300	0	0	0	154,220	0	0	498	159,018	50,982
主な支出の内容：調査研究費（和歌山市）、資料作成・購入費（雑誌購読料）、事務費（コピー代）														

\* 新型コロナウイルス感染症対策の財源とするため、令和3年12月に舞鶴市に返還。

## 令和3年度 議長交際費の支出内容をお知らせします

詳細は、舞鶴市議会のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



単位（上段：件、下段：円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	14	2	0	1	1	3	1	0	0	1	1	24
金額	0	45,360	16,000	0	10,000	4,000	19,000	500	0	0	3,000	3,000	100,860
会費	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	500	0	0	0	0	500
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弔慰	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	5
	0	0	16,000	0	10,000	0	16,000	0	0	0	0	0	42,000
その他	0	14	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	18
	0	45,360	0	0	0	4,000	3,000	0	0	0	3,000	3,000	58,360

## 政治家からの寄附禁止

**政治家の寄附は禁止！  
有権者が政治家に寄附を求めることも禁止！**

選挙の有無に関わらず、政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。

また、冠婚葬祭における贈答なども寄附になります。市民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

※政治家本人が自ら出席する結婚披露宴における祝儀、葬式や通夜における香典については、罰則の対象から除かれています（通常一般の社交の程度を超えている場合は処罰されます。）。

地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入

お祭りへの寄附・差入

町内会の集会・旅行等の催し物への寸志・飲食物の差入

お歳暮・お年賀・入学祝・卒業祝・病氣見舞

総務省のホームページに「選挙・政治資金」について掲載されております。このコードからご覧いただけます。



令和4年6月14日、15日、16日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

### 令和4年 舞鶴市議会6月定例会一般質問

令和4年6月14日、15日、16日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一括	田村 優樹	1 選挙ポスター掲示板について	2 消防団員の確保について
			3 市道亀岩通線について	
2	一問一答	伊田 悦子	1 住民参加のごみ行政について	2 女性が生き生きと力を発揮し活躍できるまちづくりについて
			3 ジェンダー平等の視点を各施策の基本に据えることについて	
3	一括	高橋 秀策	1 赤れんが周辺等まちづくりについて	2 公共施設駐車場について
			3 教育について	
4	一括	上羽 和幸	1 コロナ禍における原油価格・物価高騰対策について	
5	一括	野瀬 貴則	1 学校と保護者・関係者との情報伝達について	
			2 音楽を通して子ども達に生きる力を育むまちづくりについて	
6	一括	仲井 玲子	1 インボイス制度移行による市内事業者への影響について	2 市立図書館のレファレンス機能の活用について
			3 市の振込事務について	
7	一括	西村 正之	1 自衛隊舞鶴基地の貢献度について	
8	一問一答	小杉 悦子	1 医療的ケアを必要とする障害者の暮らしの場について	2 農業の振興について
			3 新型コロナウイルス感染症拡大対策について	
9	一問一答	肝付 隆治	1 地域共生社会の実現について	
			2 舞鶴市赤れんが周辺等まちづくり事業の現状と今後の取組について	
10	一括	杉島 久敏	1 特定健康診査等について	
			2 デジタル化推進について	
11	一括	鯛 慶一	1 ごみ処理の現状と今後について	
12	一問一答	鴨田 秋津	1 コミュニティFM中継局設置設計・工事及び入札等について	
13	3分割	小西 洋一	1 物価高騰から市民の暮らしと営業を守る市の役割について	2 先生も子どもたちも安心できる学校教育について
			3 高野川の総合的な治水対策について	
14	一括	谷川 眞司	1 ごみ処理手数料見直し後の状況について	2 中心市街地のまちづくりについて
			3 市経済の活性化について	
15	一括	松田 弘幸	1 小学校の教科担任制について	
			2 海ごみについて	
16	一括	水嶋 一明	1 道路ネットワークの整備とその効果について	
			2 スマート農業の振興について	
17	一問一答	川口 孝文	1 小中学校での各種取組の現状と将来計画について	
18	一問一答	今西 克己	1 猟友会について	
19	一括	尾関 善之	1 流域治水の取組について	
			2 市立図書館の再編について	
20	一問一答	田畑 篤子	1 高齢者支援について	2 介護職支援について
			3 医療的ケア児について	4 母子健康手帳について

※一括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※3分割…質問項目を分野ごとに3回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

舞鶴市議会

検索



※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページに掲載しています。  
また、本会議の様子は、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページからご覧ください。



令和4年6月14日、15日、16日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

**質問** 今年4月と5月の火災において、市道亀岩通線の区間で車での通行が不可になり、一時的に地域が孤立した。その原因は、迂回路となる当該路線の南側の道路の幅員が非常に狭く車の通行ができない所があること、先に侵入できる道路がほかにないことにある。将来、芥子谷団地跡地において宅地開発があった場合、市道亀岩通線の需要は増大する。有事の際を考慮しても、迂回路として狭小区間の線の整備を進めるべきではないか。



市道亀岩通線の狭小箇所

**答弁** 2件の火災の際には、消火活動のため

一時的に通行ができなくなった区間があった。市道亀岩通線は、一部区間において狭小となっており、軽自動車や自転車、歩行者の通行は可能であり、孤立したとは認識していない。本市の道路改良事業は、緊急車両の通行が極めて困難な路線や、迂回路がほかにない唯一道路の拡幅改良を優先的に実施している。当該路線の優先順位は低いものと考えている。

**Q** 狭小区間の拡幅・当該路線の整備を優先順位は低いと考える



市民クラブ舞鶴議員団  
田村 優樹



高齢者にやさしい  
ごみ出し支援を

**答弁** 他市での導入事例を参考に真に支援を必要とする方にサー

1日からのごみ処理手数料の見直しで市民負担が増えた。ごみ業務は市町村の自治事務である。有料化による料金徴収は、税金の二重取りになることから、わが党会派は反対した。年金の引き下げもあるため、高齢者等のごみ出し支援戸別収集の無料化や利用要件の緩和など、高齢者への感謝を表すべきと考えるが、いかがか。

**Q** 高齢者の生活実態に即したごみ出し支援  
**A** 今後も公平な受益者負担をお願いする



日本共産党議員団  
伊田 悦子

**答弁** 複雑困難な事案は、女性相談員だけではなく、他の相談支援員や職員等と連携しながら対応するため、増員は考えていない。

**質問** コロナ禍の外出自粛により、女性に対するDV被害の深刻化を懸念。「女性のための相談室」の専門職員増員等で体制強化すべきと考えるがいかがか。

**Q** 女性の相談体制の強化は  
**A** 他の職員との連携で対応

ビス提供できるようにした。申請者の状況は、ヒアリングを行い、利用の判断を行っている。公平な受益者負担の観点から、無料にすること等は考えていない。

**Q** 先人が築いた庭園と駐車場整備は  
**A** 将来を見据えた機能的な整備に取り組む

**答弁** 複雑困難な事案は、女性相談員だけではなく、他の相談支援員や職員等と連携しながら対応するため、増員は考えていない。

**質問** 市役所前庭園は昭和38年本館建設とともに整備をされ、市章を模した造りになっている。植栽にはカヤ、クスノキ、ゴヨウマツ（仕事を待つ）、ツガ（市政が発展してつながら）等があり、緑豊かな和む庭園で先人の思いが詰まっている。赤れんが周辺等まちづくり実施計画では、植栽をロータリーの中心部以外は撤去して駐車台数を増やすこと、有料化の可能性も含めて検討することが示されている。有料化には、市民サービスの観点から慎重でなければならぬというのが基本で、一番市民のためになる整備について問う。



創政クラブ議員団  
高橋 秀策



緑豊かな市役所前庭園

令和4年6月14日、15日、16日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

**Q** 物価高騰対策を問う  
まず給食費の支援を  
保護者負担を  
増やさない支援を検討

**A** 日本は、昨年  
から続く原油や原材料  
の高騰とロシアによる  
侵略戦争の影響、また、  
急激な円安も加わり、  
市民生活と市内産業は  
物価高に苦しめられて  
いる。政府は総合緊急  
対策で「地方創生臨時  
交付金」の拡充を行っ  
た。これを活用し支援  
をいただきたい。まず、  
学校給食では材料費が  
高騰しているが、保護  
者負担を増やさず支援  
いただきたいがどうか。



公明党議員団  
上羽 和幸



学校給食の負担軽減

**答弁** 食材料の値上  
げで単価の維持が厳し  
くなっているが、学校  
給食は、教育活動に不  
可欠であり、保育所、  
幼稚園も同様に、地方  
創生臨時交付金を活用  
し、子育て世帯に影響  
が生じないよう負担軽  
減対策に取り組んでい  
きたい。

**Q** 燃油高の産業も  
支援を

**A** 有効な支援を検討

**質問** バス、タクシー  
などの公共交通、トラッ  
クなどの物流は、燃油  
高が深刻であり、市民  
生活にも影響するため  
経営支援が必要と考  
えるがどうか。

**答弁** 影響の大きい  
高速バスやトラックな  
ど地域の物流業界に対  
する有効な支援を検討  
したい。

**Q** 地域や関係団体との  
連絡体制は

**A** 効果的な活用方法を  
研究していく



新政クラブ議員団  
野瀬 貴則

**質問** 4月から市内  
の全小中学校に保護者  
連絡システムCODMON  
が導入された。保  
護者は、スマートフォン  
で子どもの欠席連絡  
や相談ができ、学校か  
らもお知らせが届くな  
ど、保護者が待ち望ん  
でいたものである。現  
在の導入率と活用状況  
を問う。また、このア  
プリを放課後児童クラ  
ブや認定こども園にも  
展開できれば、保護者  
は一つのアプリで子  
どもの連絡が完結す  
る。ほかにも地域や  
関係団体に広く展開  
すれば学校の急な予  
定変更の連絡も届  
き、より連携を強化  
できると考えるが本  
市の見解を問う。

**答弁** 保護者への  
導入率は約93%であ  
り、連絡機能以外に、  
アンケート機能によつ  
てPTA総会の書面審  
議や参観日の保護者ア  
ンケートなど効果的に  
活用している。認定こ  
ども園への展開は考え  
ていないが、放課後児  
童クラブについては、  
事務作業の効率化も踏  
まえ検討を行う。ま  
た、地域や関係機関と  
相談しながら、効果的  
な活用方法について研  
究する。

CODMON



アプリ活用で学校と地域の情報共有

**Q** インボイス制度移行に  
よるサポートは

**A** 事業者の正しい理解と  
周知に努める



会派に所属しない議員  
仲井 玲子

**質問** 来年10月から  
始まるインボイス制度  
により、個人事業主な  
どの免税事業者のビジ  
ネス環境の悪化が懸念  
される。今後のビジネ  
ス展開にはさまざまな  
選択肢があり、より良  
い選択をするために制  
度の理解促進のサポー  
トを期待するが、市の  
見解を問う。

**答弁** 適格請求書発  
行事業者への登録の有  
無により、結果として  
収益や取引に変動が生  
じる場合があると認識  
している。商工会議所  
や関係機関と連携しな  
がら、登録期限までに  
事業者の皆さまが制度  
を正しく理解し、適切  
な選択ができるよう周  
知に努める。

**Q** レファレンス  
機能の活用は

**A** 市民周知に努める

**質問** 本市の図書館  
司書は、高度なカウン  
セリング力とホスピタ  
リティを有する。市民  
の皆さまにこのレファ  
レンス機能をもっと活  
用していただきたいが、  
今後の取り組みを問う。

**答弁** 課題解決のた  
めのレファレンス機能  
についての市民周知は  
不十分であると承知し  
ている。今後、あらゆる  
機会を活用してPR  
に努める。



課題解決型図書館を目指す本市図書館



令和4年6月14日、15日、16日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

**答弁** 本市に暮らす自衛隊員とそのご家族に住みやすく働きやすいと感じていただけるよう、海上自衛隊舞鶴地方総監

**質問** 舞鶴市と海上自衛隊舞鶴基地の共存共栄を一層発展・強化することが、市民の安全・安心を確保し、明るく住みよいまちづくりに役立つものと確信する。舞鶴基地は、本市における経済的寄与、人的面からの貢献度も大きく、今や本市にとつてなくてはならない存在である。自衛隊員はその家族も含め、地域経済をはじめ地域全体を支えるという大変大きな役割を果たしている。自衛隊舞鶴基地並びに隊員の貢献度を問う。



舞鶴基地の護衛艦ひゅうが

部と「海上自衛隊舞鶴所在部隊隊員とその家族に関する総合支援協定」を締結した。市では、今後とも、自衛隊員の皆さまにとつて、魅力あふれるまちと、赴任したいまちと言っていただけよう、自衛隊との連携のさらなる強化を図りながら、自衛隊が所在する自治体としての責務を果たしたいと考えている。

一般質問

**Q** 自衛隊舞鶴基地と隊員の貢献度を問う

**A** 自衛隊との連携さらなる強化を

市民クラブ舞鶴議員団  
西村正之



地域で暮らしを築く環境を

**質問** 障害者が地域で暮らすためには、医療的ケアを受けることができる暮らしの場が身近にあることが不可欠で、喫緊の課題と考える。市の対応は、当事者や家族の願いに背を向けた冷たいものである。医療的ケアを必要とする障害者の暮らしの場の必要性について、市の見解を問う。

一般質問

**Q** 医療的ケアが必要な障害者の対応は

**A** 障害者福祉施策の充実に取り組む

日本共産党議員団  
小杉悦子

**答弁** 自宅での生活が困難になった場合、施設で社会生活を営むことも重要な暮らしの確保であると認識して

**質問** 米価の下落、飼料や肥料の値上がり、燃料などが高騰している。営農の見通しが持ちにくい状態である。本市農業への影響と、その支援策はどうか。

**答弁** 原油や原材料に加え、肥料、飼料の高騰、生産、流通、販売等のコストの増加が見込まれる。生産者、JA等関係機関を中心に情報収集に努め、国、京都府の動向を注視し、必要に応じて生産者への支援を検討する。

**質問** 物価高騰での農業支援策は

**A** 関係者と連携し対策を検討

一般質問

**Q** 支え合いの地域づくりにどう取り組む

**A** 多様な交流を通じ地域づくりを推進する

創政クラブ議員団  
肝付隆治

**質問** 日常のさまざまな場面における「つながり」の弱まりにより、地域での支え合いの生活環境がなくなり、社会的孤立などの課題が表面化している。大災害が発生すると地域力が強くなることはたびたび報告されているが、災害が起きなくても、住民同士による支え合いの地域が生まれ、自主性と主体性を持つて地域課題を解決できるような



支え合いで住みやすい社会を

心豊かな地域社会を実現するためには住民自ら、主体的に関わっていくことが必要である。今後の地域づくりにおいては、各世代に応じた情報発信を行い、親世代が参加する子どもを中心とした交流事業などで住民同士の相互理解を促進し、人と人とのつながりを紡いでいくことにより、課題解決につなげていく。

令和4年6月14日、15日、16日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

**質問** 今後も成長が見込まれるデジタル分野での就労は、経済的な不安定につながるほか、テレワークなら育児や介護をしながらでも取り組めるといった利点がある。希望する女性がデジタル知識や技能を習得して、就労できるように強力に後押しするべきであり、実効性のある「人材育成プラン」の策定に取り組んでいくべきと思われる。女性の就労環境向上や柔軟な働き方の推進について、女性人材の育成における市の考えを問う。



女性デジタル人材育成プランのイメージ

**答弁** 働きたい女性が能力に応じて活躍できる環境整備のため、市内企業の経営者や人事担当者を対象に誰もが働きやすく、働きがいを感じられる会社づくりを共に考えるセミナーや、女性活躍を後押しするスキルアップ研修会の開催に取り組む。働きがいのある企業を増やすことで、雇用の安定を図り、女性がライフステージに応じたキャリアプランを実現しながら、多様な柔軟な働き方ができる社会の実現を目指す。

**Q** デジタル分野での女性の就労環境向上は柔軟な働き方ができる社会実現を目指す



公明党議員団 杉島久敏

**Q** 不燃ごみ立ち番の負担軽減策はないか



新政クラブ議員団 鯛慶一

**A** 立ち番の任意化を含め検討

**質問** 多くの自治会が不燃ごみ収集日の立ち番で困っている。集積方法や分別方法の変更など、さまざまな観点から配置していると思われるが、これが自治会の負担になっている。不燃ごみ集積所の管理は自治会で行っているが、立ち番を必ず配置しなければならぬのか。また、自治会規模が違う本市で、2人の立ち番が適正なのか。

**答弁** 不燃ごみの集積所において、設置・管理する自治会で立ち番を配置していただいている。人数には定めがなく、集積所やごみの実情に応じ、適正な分別案内などができる人数の配置をお願いしている。立ち番の負担については、これまでからさまざまな場面で負担軽減のご意見をいただいている。今後は、不燃ごみの排出ルールの定着状況を見ながら、集積所の秩序維持の観点からの必要性や地域事情を考慮して、立ち番の任意化の検討を進める。



立ち番を必要としない市民のモラル向上

**質問** コミュニティFM中継局設置設計工事は総事業費約1億6千万円を使った大事業だったが、工事が完了しても加佐地区で放送が聴けないことが判明。本来不要だった約2千万円を追加支出し、応急的に有線で整備した後、加佐地区で無線通信を可能とする再工事が実施された。有線から無線に切り替えているか、無線でラジオが聴ける状態にあるか。

**Q** 加佐地区FM中継局の再工事後の現状は無線だけでも放送可能



市民クラブ舞鶴議員団 鴨田秋津



事業の目的は防災情報の伝達手段の充実と強化を図るもの

**答弁** 西市民プラザから加佐中継局へ直接で負担軽減のご意見をいただいている。今後は、不燃ごみの排出ルールの定着状況を見ながら、集積所の秩序維持の観点からの必要性や地域事情を考慮して、立ち番の任意化の検討を進める。

**質問** 五老ヶ岳送信所局舎内の機器の使用条件は、周囲温度40度以内。温度上昇で機器が故障すると全エリア放送停止に至る可能性がある。空調の設置が基本。検討したのか。

**答弁** 事業者と協議して完了しているが、温度の上昇は内容を把握していない。新たな課題となれば、放送機器にどの程度の影響を及ぼすか把握する。

**Q** 機器周囲の温度上昇対策は新たな課題と影響を把握



令和4年6月14日、15日、16日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問



利用者の利便性  
経営を直撃する物価高

**質問** 物価高騰対策として、市民生活を底上げする緊急対策が必要と考える。市役所内に「物価高騰・暮らしと営業相談室」を設置し、市民の暮らしや経営相談に丁寧に応じると同時に、「給食費の無償化」「水道基本料免除」など、市民生活を底上げする具体的な市の支援策を実施すべきでは。

**答弁** 物価高騰は、コロナ禍から社会経済活動の回復に大きな影響を及ぼしている。関係機関と連携し、地域

**Q** 物価高騰に対し市の独自支援策を求める  
**A** 市民に寄り添う支援策を検討



の実態把握に努め、市民や事業者に寄り添った支援策を提供する。また、影響緩和策についても国、府の支援策等を見ながら検討する。

**Q** 高野川の整備目標見直しを  
**A** 新基準の適用時期に変更

**質問** 気象庁は「線状降水帯等による大雨は、経験のない地域でも高まっている」と注意している。平成16年台風23号と同程度の降雨条件による高野川の整備目標の見直しは。

**答弁** 近年、各地で計画規模を上回る雨量の浸水被害が発生したことから、国交省で計画降雨の見直しが検討され、新基準の適用時期がくれば変更したい。

**Q** ごみ排出時のルール周知を  
**A** あらゆる機会を通し周知、啓発に努める



**質問** 市外からの転入者やアパート入居者へのごみ分別周知が不十分であったことをきっかけに、地域内でトラブルが発生したり、地域との関係が悪くなったりすることが懸念される。また、アパートなどの入居者についても、個々の集積所の利用ルールの間違いやごみに関する情報不足により、トラブルが起これることもある。市として、ごみ分別に関してどのような周知を図っているのかを問う。

**答弁** 転入者については、転入手続の際にごみ分別ルールブックを渡し、理

解と協力をお願いしている。また、生活環境課においても個別のお尋ねに対し、丁寧に対応している。アパートなどの入居者については、自治会に加入していない方もあり、市内の不動産仲介業者に対して、入居者へのごみ分別ルールの周知について協力をお願いしてきた。今後も引き続き、適正にごみが排出されるよう、あらゆる機会を通して、周知・啓発に努める。



ごみ分別ルールブック

**Q** 小学校の教科担任制今後の取り組みは  
**A** 教員の増員で、教科担任制を進める



**質問** 教育における効果の大きさや教員の働き方改革の必要性などを踏まえ、文部科学省は22年度から小学校の教科担任制を導入することを決定した。舞鶴市でも先進的に取り組まれているが、今後の取り組みを問う。

**答弁** 全国市長会等を通じ、国や府に加配教員や専科指導教員の増員を要望し、教科担任制を進め、質の高い教育の充実を目指す。

**Q** 海洋ごみ発生の抑制を問う  
**A** 市民や事業所に啓発を推進

**質問** 舞鶴湾に目を向けると海岸や島々に多くの漂着ごみがある。舞鶴湾のごみは、河川からの流入や風などに

よるもので、ほとんどが舞鶴市内から出たごみと考えられる。ごみを可能な限り回収し、新たに発生させないことが重要である。海洋ごみ発生の抑制に対する取り組みを問う。

**答弁** 出前講座やごみの分別ルールブックへの掲載を通じ、プラスチックごみの排出抑制の啓発をしてきた。市民や事業所に関心を持っていただき、日常生活や業務の中で取り組んでいただけるようさらに啓発を推進する。



漂着した海洋ごみ

一般質問

令和4年6月14日、15日、16日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

**Q** 道路ネットワークの整備効果は

**A** 物流の効率化や交通渋滞の緩和等がある



新政クラブ議員団  
水嶋 一明

**質問** 西地区には南

北を軸にした幹線道路が一本しかなく、大手交差点では休日等に渋滞や交通事故が発生している。府道小倉西舞鶴の4車線化工事が完了すると、舞鶴若狭自動車道、国道27号西舞鶴道路とあわせ、市街地へのアクセスが強化され、観光客のさらなる増加も見込まれる。本市が発展していくには、国道27号西舞鶴道路を中心とした早期の道路整備が重要である。道路整備完了後の目指す交通体系や交通網の整備の効果等を問う。

**答弁** 西地区の骨格

を担う国道27号西舞鶴道路、臨港道路上安久線は、ポストコロナ時代の新たな日常を支え、地方創生および国土強



着々と進む国道27号西舞鶴道路工事

**質問** 文科科学省

は、令和4年度を初年度とする「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定した。学校図書館に配備する図書、新聞、学校司書に係る経費を想定した地方交付税を確保することとである。本市の学校図書館の整備計画等について、整備すべき蔵書冊数を表す図書標準の達成率はどうか。また今後、学校図書館に配備する図書・新聞等に関する考え、司書教諭・学校司書の配置状況と今後の配置方針、司書教諭を市独自で養成する方策など市の考えを問う。

**答弁** 本市で図書標

準を達成できている学校は小学校61%、中学校57%である。現在、

**Q** 学校図書館充実に向けた取り組みを問う

**A** 蔵書等の拡充と司書教諭の養成に努める



創政クラブ議員団  
川口 孝文

**質問** 野生鳥獣によ

る農林業の被害が全国各地で広域化、深刻化している。被害の範囲は、中山間地域に留まらず市街地にまで及び、全国的な課題となっている。本市においてもニホンジカの個体数が爆発的に増加し、農林業に関する被害に留まらず民家の庭先にも及んでいる。このような状況を踏まえ、捕獲班員の上限定員20人の見直しを問う。

**答弁** 本市において

は、森林や農地の面積の違いから、地域によつては野生鳥獣の生息状況が異なる可能性もあり、有害鳥獣捕獲体制の見直しについて、3支部猟友会との合同協議を早急に進めてい

**Q** 有害鳥獣捕獲班員の定員の見直しを問う

**A** 猟友会との合同協議を進めていく



新政クラブ議員団  
今西 克己

**Q** 銃器使用の見直しを問う

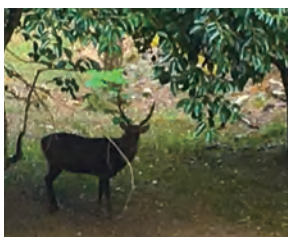
**A** 各支部合同協議に取り組み

**質問** ツキノワグマ

が第二種特定鳥獣管理計画に変更された。巻き狩りやクマの止め刺しなど、殺処分によりライフル銃の使用が可能になるよう銃規制の見直しを問う。

**答弁** 3支部猟友会

との合同の協議は、現在まで実施していないが、順次、各支部の現状を聞き取り、合同での協議を進めていく。



増え続けるニホンジカ



令和4年6月14日、15日、16日に本会議を開き、20人が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

舞鶴市議会の情報発信 ~ YouTube と Facebook ~

**答弁** 図書館基本計画審議会において、中央館の新設も含めた市全体の図書館機能の再編に

踏まえ、市としての候補地の考えを問う。

**質問** 東西図書館を統合し規模の大きい中央館を新設することは、課題解決型図書館へ転換し、幅広い世代の市民に利用していただくために必要な施策と考

える。図書館協議会からも京都府北部の図書館の連携が必要と指摘されており、府北部の市町村の住民が舞鶴市の中央館を利用することも想定され、交通の結節点である西舞鶴駅は重要な位置と考える。

このような状況を踏まえ、市としての候補地の考えを問う。


ついて議論をいただいでおり、利用者の利便性を考慮し、公共交通の結節点であること、来館者の駐車場が十分に確保できること、市有地であることなどが要件と考えられる。西舞鶴駅は、複数の公共交通の結節点であることから、京都府北部の図書館広域連携にかなうことを踏まえ、西駅東口の土地開発公社所有地が優位であるとのご意見をいただいた。



図書館の再編議論の方向は

**Q** 市立図書館の新中央館の候補地は審議会において西駅東口が優位との意見

**A** 審議会において西駅東口が優位との意見



創政クラブ議員団  
尾関 善之




地域包括ケアシステム

**質問** 生活支援コーディネーターは、別名で地域支え合い推進員とも呼ばれている。厚生労働省は「高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援および介護予防サービスを提供体制の構築に向けたコーディネーター機能を果たす者」と定めている。孤立しない高齢者支援に求められている役割である。今後、市内の配置においては、どのような考えか。

**Q** 生活支援コーディネーターの配置計画は人材発掘や育成支援の取り組みを進める

**A** 人材発掘や育成支援の取り組みを進める



新政クラブ議員団  
田畑 篤子

**質問** 実習可能な施設を増やし、介護現場のニーズにマッチした対応となるよう京都府に要望する考えは。

**答弁** 医療機関での受け入れの可能性など京都府とも協議していく。

**質問** 現時点では、城北地域包括ケアセンターに1人の配置である。他の圏域においてもコーディネーターを配置できることは、望ましいと考えている。委託先の法人に配置をお願いするほか、適した人材の発掘や育成支援などの取り組みを進めていく。

**Q** 医療機関の実習受け入れは

**A** 京都府と協議していく

舞鶴市議会の情報発信 ~ YouTube と Facebook ~

舞鶴市議会では、議会の「見える化」を図る方法の1つとして、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しています。

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加えて、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していますので、是非ご覧ください。

また、「公式Facebook」では、議会の活動内容を随時発信していますので、是非ご覧ください。チャンネル登録や「いいね」もお願いします。

舞鶴市議会  
YouTube



舞鶴市議会  
Facebook



舞鶴市議会  
ホームページ



議会運営委員会と4つの常任委員会では、先進地の事例を市政に生かすため、調査視察を実施しました。視察の概要は次のとおりです。

## 議会活性化特別委員会と常任委員会の視察報告

### 議会運営委員会の視察報告

(令和4年4月27日(水)・28(木))

議会運営委員会は、議会活動のさらなる活性化に向けて、他市の取り組みを調査視察しましたので、その概要を報告します。

- 視察先 ①岩手県滝沢市  
②愛知県岩倉市

- 視察項目  
議会活性化に関する取り組みについて



オンラインによる視察

### 通年議会と議会モニターについて調査

滝沢市議会において、通年の会期としたことによる変化としては、市民生活が365日、常に動いているのと同様に、議会も動いていることで、市政の監視や市民との対話が充実すること、迅速な意思決定ができることなどが挙げられるが、職員の負担は増えている。

議会モニターについては、住民参加の手法の一つとして、議会だよりに関するアンケート、本会議に関する意見聴取、モニター会議による意見交換などが

行われており、その声を議会運営に反映させることに意義はあるものの、モニターになっていただく方の確保に苦慮されていた。

岩倉市議会では、議会サポーターという名称で、住民からの意見等を議会運営に反映させる取り組みが行われており、募集方法として、無作為抽出による依頼も行われている。

サポーターの活動内容は、滝沢市議会と同様で、サポーターからの意見は、議会改革推進会議において協議し、結果を公表されている。

## 常任委員会の視察報告

舞鶴市議会の4つの常任委員会は、先進地の事例を市政に生かすため、調査視察を実施しましたので、その概要を報告します。

### 総務消防委員会 (令和4年5月9日(月)~11日(水))

#### ● 視察先および視察項目

- ① 香川県さぬき市  
さぬき市地域公共交通計画について
- ② 島根県出雲市  
出雲市デジタルファースト推進計画について
- ③ 岡山県倉敷市  
倉敷市地域公共交通網形成計画について

### 市民文教委員会 (令和4年5月9日(月)~11日(水))

#### ● 視察先および視察項目

- ① 東京都町田市  
ごみの減量について
- ② 茨城県土浦市  
みらいスタディについて
- ③ 茨城県鹿嶋市  
訪問型家庭教育支援事業について

### 産業建設委員会 (令和4年5月17日(火)~19日(木))

#### ● 視察先および視察項目

- ① 兵庫県高砂市  
総合治水対策について
- ② 熊本県  
流域治水対策について
- ③ 山口県下関市  
農業振興に係る取り組みについて

### 福祉健康委員会 (令和4年5月17日(火)~19日(木))

#### ● 視察先および視察項目

- ① 福岡県北九州市  
高齢者の自立と孤立防止に関する取り組みについて
- ② 山口県防府市  
高齢者の自立と生活支援サービスの充実について
- ③ 岡山県倉敷市  
高齢者の孤立防止と生活支援サービスの充実について

### 「地域公共交通計画」について調査

さぬき市では、計画の策定に当たって、無作為抽出による市民アンケート調査、ワークショップ形式による市民ニーズ調査、交通事業者へのヒアリングなど、多種多様の調査が行われていた。

望ましい公共交通ネットワークの在り方として、広域交通は鉄道と高速バス、市内の地域間路線は路線バス、地域内路線はコミュニティバス、それらを補完する交通として、タクシーや外出支援サービスなどを位置付け、機能・役割を分担することとなっている。

倉敷市では、「都市の骨格を形成する公共交通」「市民に愛され

### 総務消防委員会

暮らしを支える公共交通」「都市に豊かさや活力を生み出す公共交通」「国内外からのニーズに応えたおもてなしの公共交通」の4つの基本方針のもと、多くの具体的な取り組みが計画・実施されていた。

評価指標も設け、個別の取り組みの実績や達成度を管理しながら、今後取り組むべき課題を整理し、次期計画への準備も行われていた。



熱のこもった説明(さぬき市)



議会運営委員会と4つの常任委員会では、先進地の事例を市政に生かすため、調査視察を実施しました。視察の概要は次のとおりです。

## 議会活性化特別委員会と常任委員会の視察報告

### 市民文教委員会

#### ごみの減量について

町田市では、ごみの全てを再資源化する技術を持つバイオエネルギーセンターを視察した。また、当該市では、使い捨て容器を使わない「リユース意識」の向上のため、マイボトルキャンペーンを実施し、スポーツイベント等で、マイボトル持参者に、選手からシール



町田市バイオエネルギーセンターを視察

やステッカーをプレゼントするなど、市民と事業者が一緒に頑張って、ごみの減量に取り組んでいる。

#### キャリア教育、家庭教育支援の取り組み

土浦市では、小中学校9年間の発達段階に応じた系統的なキャリア教育プランを構築し、子どもたちの健全な成長と主体的に生きていく力の育成を目指している。

鹿嶋市では、地域人材を活用した家庭教育支援チームを立ち上げ、家庭に教育支援を届ける「訪問型家庭教育支援事業」を、平成29年度より開始した。元教員や民生委員等で構成する支援チームが、小学校1年生の子どもを持つ全家庭を訪問し、子育ての悩みなどの相談に応じている。

### 産業建設委員会

#### 治水対策および農業振興の取り組みを視察

高砂市では、総合治水対策として、平成23年の台風12号の災害を教訓に、管渠その他の

構造物を一体的に評価するシミュレーション手法を導入している。短期、中期、長期に分けた段階的な整備目標を設定し、効果を確認しながら対策を実施することにより、浸水被害が軽減されていた。熊本県球磨川流域復興局では、令和2年7月の豪雨災害を受けて策定した「球磨川水系



熊本県の「田んぼダム」の現場

流域治水プロジェクト」に基づき、氾濫を防ぐ、被害対象を減らす、被害を軽減するための対策を実施している。水田の貯留機能を高める「田んぼダム」の取り組みは、大いに参考になった。

下関市では、農業振興に係る取り組みとして、新規就農者の確保を促進する事業や有害鳥獣被害を防止するための事業を実施している。中でも、サル対策としての大型捕獲檻やモンキードッグによる追い払いで、かなりの成果を上げられていた。

### 福祉健康委員会

#### 高齢者の自立と生活支援について

北九州市では、重層構造による地域福祉のネットワークや老人クラブの取り組みを視察した。市内事業者の協力や民生委員を補佐する人員の配置、各層の役割を明確に区分することなどにより、現場における過度の負担をなくした継続可能な体制づくりは大いに参考となった。

防府市では、「ほうふ・てごネット」をはじめとする全ての高齢者が「お互いに支え合うことができる」さまざまな仕組みを視察した。生活支援コーディネーターを中心に、行政、包括支援センターや介護専門職員などと連携し、全員参加の姿勢で課題解決に取り組

まれていた。

倉敷市では、地域の支え合い活動や「通いの場」について視察した。生活支援コーディネーターが行政と各団体、また、情報、人、居場所をつなぐ重要な役割を果たしておられた。現場と行政の密な連携や、高齢者だけでなく、地域全体で物事を捉える視点など、今後の施策の参考となると考える。



倉敷市職員から説明を受ける

意見書

6月定例会で議員発議し、可決した意見書は次のとおりです。

▽電力の安定供給を求める意見書

平成28年4月から、電気の小売業への参入が全面自由化され、家庭や商店も含む全ての消費者が、電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになった。

この電力小売全面自由化により、電気の小売り事業への参入者が増えることで競争が活発化し、時間帯別料金など様々な料金メニュー・サービスが登場することが期待され、消費者のライフスタイルや価値観に合わせて、安心して自由に選択できる環境が整備されてきたと認識している。

規に参入した電気事業者の撤退が増加していることに加え、多くの新電力は、自前の発電設備を持たず、日本卸電力取引所で電気を調達し、顧客に販売している状況にある。

また、昨年から続く液化天然ガス(LNG)の価格上昇に、ロシアによるウクライナ侵攻の影響も重なり、本年4月の平均市場価格は、昨年同月の2・7倍に膨らんでいる。

さらに、経済産業省においては、新電力の事業撤退などにより電力の供給先が見つかからない企業等に対し、大手電力の送配電会社が電気を供給する最終保障供給制度に電力卸市場価格を反映する見直し案を公表し、現在の市場販売価格に比べ、割安となっている同制度の値上げを提案しているところである。

今後の輸入による燃料調達 の程度によっては、さらに厳しい電力需給が想定さ

れるため、この状況を克服するためには、エネルギー政策に大きな責任を持つ国の役割が重要であることから、早急に下記事項の実施を求める。

- 1 電力需給の安定的運用及び電気料金の高騰抑制対策を早急に進めること
- 2 小売電気事業者への参入基準の検証を行うこと



9月定例会予定

9月

- 2日(金) 本会議(開会・提案説明)
- 9日(金) 請願受理締切
- 14日(水) 本会議(代表質問)
- 15日(木) 本会議(一般質問)
- 16日(金) 本会議(一般質問・議案質疑)
- 21日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 22日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 26日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 27日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 30日(金) 予算決算委員会



10月

- 6日(木) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)

※予定は変更することがあります。

「議会改革度調査2021」

ランキングが発表されました!

- 全国(一般市) 第 8 位 / 673議会
- 全国(総合) 第 11 位 / 1,355議会
- 近畿(総合) 第 1 位 / 170議会

詳細は、舞鶴市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

